

令和 4年度 「校庭芝生化地域連携事業」 実施報告書

区市町村名 瑞 穂 町

学校名 瑞穂町 立 瑞穂第五小学校

1 事業目的 協議会名 瑞穂第五小学校芝生維持管理委員会

学校と保護者、地域住民、スポーツ団体が芝生の維持管理を連携・協働して行う仕組みづくりを推進することを通して、学校を中心とした地域のコミュニティをはぐむとともに子供の心身の成長・発達や地域の教育力の向上を目指す。

2 主な取組と成果

- 「スポーツ旬間」「たてわり班遊び」体育の授業、休み時間の遊びについては、計画通り芝生を活用し実施することができた。特に「スポーツ旬間」では普段外で遊ぶことが少ない児童が外遊びのきっかけを得、その後、外で遊ぶが増えるなどの成果を見ることができた。
- 地域等関係機関との連携事業は感染防止のため中止となったが、地域等関係機関の方からは再開の声が寄せられている。次年度も企画したい。
- 芝生維持管理委員会では、年間を通し、裸地の解消、雑草の減少に取り組んだ。裸地については、冬芝のオーバーシード回数を増やした結果、回復を確認できた。雑草については十分な成果が確認できなかった。委員会として、芝生の活用の推進と維持管理を両立させる計画を作ることが必要であることを委員会として確認することができた。

3 取組内容

- 瑞穂第五小学校芝生維持管理委員会(①4/28 ②6/14 ③9/7 ④10/27 ⑤2月下旬[予定])
【内容】状態・管理状況の確認、今後の維持管理、PTA活動としての取組、関連作業等
- スポーツ旬間
体育委員の児童が準備・片付けをし、スポーツに親しみをもつとともに、積極的に外遊びを続けていく態度を養う。
 - ・1学期(5月24日～6月3日)「チャレンジスポーツテスト」
校庭芝生内に「ソフトボール投げ」等の体験コーナーを作り、体験、記録計測を行ったりした。
児童集会を行った。
 - ・2学期:(11月7日～11月18日)「運動の秋、たくさん体を動かそう」
学年対抗全校ドッチボール大会を実施した。
校庭芝生内に6つのコートを設定し実施した。
 - ・3学期(1月16日～1月27日) * 体育委員会で内容検討中。
- 全校たてわり班遊び集会(毎月1回程度 朝の時間 全校児童225名)
 - ・1～6年生で編成されたたてわり班で、6年生がリーダーとなり異年齢集団で遊びを楽しむ。
- 以下の地域等関係機関との連携企画は新型コロナウイルス感染症感染防止のため協議の結果中止とした。
 - ・サッカー教室(五小少年サッカークラブとの連携)
 - ・野球・ティーボール教室(ソフトボールクラブとの連携)
 - ・お年寄りとの交流活動(地域団体・近隣施設との連携交流)



4 今後について

- 地域等関係機関との連携の継続
 - ・新型コロナウイルス感染症の流行が続くことが想定される中、コロナ禍以前に行ってきた取り組みと同等の企画を地域等関係機関と生み出し、地域コミュニティを育む実践を継続させること。
- 芝生に親しみ進んで体を動かす児童を育てる教育課程
 - ・スポーツ旬間での取り組みは継続する。
 - ・消防写生会等校舎裏の駐車場で行ってきた行事を芝生で行うよう検討する。
 - ・芝生を環境教育に活用する。
- 芝生維持管理委員会
 - ・芝刈り等の作業分担を再検討する。関係機関の人員も活用し維持管理を行う方策を検討する。
 - ・裸地の解消、雑草の減少に向けた、管理工程の見直しを行う。